

団体名

ひょうたん寺子屋実行委員会

団体概要

様々な要因から不登校や素行不良になっている子ども達に対し、地域の有志とボランティアで学習支援をしていく。未来の地域を支える貴重な人材として成長してもらう事が目的。「ひょうたん寺子屋」として、夏休み・冬休みの宿題が出来る場を提供。宿題以外に受験対策等のワンステップ上の学習会も開催。

活動名：勉強ってホントは楽しい！ ひょうたん寺子屋へ来て、まずは宿題・課題からやってみよう！

1

目標の達成度

従来からの目標・目的として掲げている3点を念頭に、今年度はコロナ禍で大きな犠牲を強いられている子どもたちの救済も目標に加え活動してきました。

1. 学業が要因となる不登校、素行不良を無くす
2. 格差のない学習環境づくり
3. ひょうたん寺子屋出身者が『まちづくり活動』の担い手になる
4. コロナ禍で休校や地域行事が中止となり、活動の場が激減している子どもたちの救済

1. に関してはひょうたん寺子屋へ来る子どもたち中に不登校や素行不良が目立つという子は現状いません。ただし、実際に不登校になっている子どもたちはいますので、今後は行政や関係機関とも連携を深め、より目的に近い活動ができるよう改善していきたいです。
2. について、参加費を100円/回と低額にし、どのような環境に置かれていても参加しやすいようにしています。ただし、様々な状況に置かれている子どもたちもいますので、余計な負担をかけないよう臨機応変に対応をしていこうと思います。
3. に関しては長期での目標であり、ひょうたん寺子屋を継続することで目標を達成していきたいと思っています。
4. 新型コロナの感染拡大により、「ひょうたん寺子屋・夏」も中止をせざるを得ない状況になってしまいました。その代替として、地元地域活動団体2団体、中村区役所と共催で『新型コロナ子ども救済企画・ひょうたん横丁』を12月に開催しました。



冬休みの宿題 きれいさっぱり終わらせちゃおう!

冬休み 小学生 10名 参加費 100円

ひょうたん 寺子屋

2020年 12月26日(土)・27日(日) ひる2時～ゆがた4時

会場 太閤山 常泉寺

冬休みの宿題がまだ残ってない人、集まれ! 宿題が終わった人もとんどん勉強しに来よう!

『書き初め』大歓迎です!
『苦手科目』克服しちゃおう!
『図工』絵や工作も終わらせよう!

ココロ集合

主催 ひょうたん寺子屋実行委員会
協賛 秀正の公園をつくる会
協力 豊國神社、太閤山常泉寺

楽しさいっぱい! みんなおいでよ! コロナ対策!

ひょうたん横丁

2020年12月5日(土) せぜん11時～こ3時 小雨決行

会場 中村公園、太閤山 常泉寺

参加費 100円

新型コロナウイルス感染症に付きお願いの注意

※ブースは常泉寺境内です

- 金魚つり 金魚をすくわんじりなはし!
- コイン落とし 水の平の釣をねらって 釣を落とせ!
- 射的 お菓子がのちやちやねらって 数を落とせ!
- 風船ヨーヨー お祭りでおなじみ 風船ヨーヨーを釣りあひよう!
- ベビーカステラ 加えてたっぷり! 卵まへはメダカがえおろせ!
- 太閤秀吉功路 市村出陣の戦国武将 『徳川秀吉』について乗ろう!
- パルーンアート 絵画でお花や動物を 楽しく作ろう!
- 菓子まき 名古屋名産『菓子まき』を 15時20分からはじめ!

金魚つり 風船ヨーヨー コイン落とし 菓子まき

逃走中!

参加者募集!

逃走エリアは中村公園全部! 果たして誰はハンターから逃げ切ることができるか...

事前申し込み制 11月30日(月) 小学校1年生～6年生 参加費30名

ひょうたんハント 参加申し込みは当日 常泉寺境内の太閤山常泉寺

中村公園に眠る検宝をさがせ!

ひょうたん横丁 入場券

名前 (ふりがな)	年齢 (歳)	性別 (男/女)	体温 (℃)
名前 (ふりがな)	年齢 (歳)	性別 (男/女)	体温 (℃)

2

活動の成果

『ひょうたん寺子屋・冬』、『ひょうたん横丁』を開催し素晴らしかったことは、中村公園周辺の主なまちづくり活動団体が協力しあっただけでなく、中村区役所、中村区にキャンパスを構える愛知大学、同朋大学の学生さんも参加し、まさに『中村パワー』として結集できたこと。ボランティアをお願いした大学生や高校生たちも非常に積極的かつ協力的で、とても頼もしかったです。

会場を提供していただいた太閤山・常泉寺様、備品をお借りした豊國神社様、中村公園事務所様、活動を支援していただいた名古屋都市センター様など、多くの方々に支えられての諸活動です。ありがとうございました。



目標達成のために努力したこと

まずは新型コロナウイルス感染拡大防止に最大の注意を払いました。寺子屋の会場を中村公園記念館から、より広く換気もしやすい環境にある太閤山・常泉寺へ変更。定員も昨年までの15名から10名に減らし、サーキュレーター4台の設置、マスク着用と手指消毒の徹底、席の間隔をできる限り離すなどの対策をとりました。ひょうたん横丁については入場時の検温や手指消毒、使用備品の消毒、境内に入る人数を制限するなどの対策をとりました。

会場の太閤山・常泉寺は豊臣秀吉にゆかりのある寺院であり、本堂には大小たくさんひょうたんが飾られています。なぜこのお寺にひょうたんがたくさん飾ってあるのか、豊臣秀吉とひょうたんはどのような関係性があるのか、こうした視点から郷土の歴史についても学ぶ機会を設け、子どもたちに知識を深めてもらうようにしました。

また、参加者の子どもたち、ボランティア講師とも昨年よりスムーズに集めることができましたが、引き続き公式ホームページ作成や公式SNSアカウントの設定など、情報の発信力を高める努力をしていきます。



活動で得た学び

ひょうたん寺子屋で学生ボランティアと楽しそうに学ぶ姿勢、ひょうたん横丁で笑顔いっぱい楽しむ姿。今年度の活動を通じて強く感じたことは、子どもたちはみんな「人との交流」や「楽しみ」に飢えているんだなということ。子どもの拠り所、頼るところは身近な大人だと思います。それに大人たちが応えられるか。大人が大人の目的で動くのではなく、地域や子どもたちのたちのために動くことが大切ということが、今回のコロナ禍で良く分かりました。

また、ボランティアの大学生・高校生たちもただ参加するのではなく、自分自身がどうしてこの場にいるのか、何をすれば良いのかを常に考えて参加してくれているのを昨年より強く感じたのも活動の成果だと思います。

これらの活動内容がよりレベルアップしていけるよう、これからも鋭意努力していきます。

